

牛護蹄衛生調査普及推進事業「新規牛削蹄師養成講習会」開催要領
(平成28年度 宮崎県2級認定牛削蹄師認定講習・認定試験実施要領)

平成 28年 5月12 日
(公社) 日本装削蹄協会

1. 講習会の目的：

酪農及び肉用牛経営における生産性向上を図るため、基礎的な削蹄技術を有する牛削蹄師を養成・確保するための実習主体の講習会を開催するものとする。

2. 主催者等：

①主催者～公益社団法人 日本装削蹄協会（東京都港区新橋 4-5-4JRA 新橋分館 7F、TEL：03-6821-4450、090-7807-7228）

②協力団体～宮崎県牛削蹄師会（都城地区農業共済組合内、TEL0986-22-1042）

3. 開催期日：平成28年7月20日(水)および7月21日(木)の2日間

4. 開催場所： 宮崎県立農業大学校（児湯郡高鍋町持田 5733、TEL0983-23-0120）

5. 受講資格：18歳以上の者

6. 受験料等：受講料等は次のとおりです。（消費税含む）

①受講料；19,440円

②受験料；28,080円

③テキスト代；6,000円（希望者）

④テキスト送料；1冊の場合は360円、6冊以上の場合は本会にご連絡ください

（注1）牛削蹄入門のテキストには練習問題が付録しておりますので事前に予習をしていただくことをお勧めします。

（注2）テキスト購入希望者はテキスト代と送料を含めた合計金額を本会指定口座に振り込んで
さい。

7. 受講・受験手続：

(1)九州・沖縄地区在住の受講希望者は、6月24日(金)までに、別紙「正会員一覧」を参照の上、地元の県装削蹄師会に提出して下さい。

また、その他の地区の受講希望者は、7月1日(金)までに本会に提出して下さい。

①2級認定牛削蹄師認定講習会受講申込書

②2級認定牛削蹄師認定試験受験願書

(2)獣医師が受講・受験する場合は、上記(1)の書類のほか、獣医師免許証の写しを提出して下さい。

(3)受講料等は、別紙「払込取扱票」を参考のうえ、郵便局の「払込取扱票」に記載し、7月1日(金)までに振込んで下さい（振込手数料は受講者負担）。

（注1）獣医師については、学科講習および学科試験を免除しますが、所定の受講・受験料を申し受けます。

（注2）受講・受験料の納入後に受講出来なくなった場合、受講・受験料は、原則として、返金しません。

8. 受講者数及び受講者の決定等：

(1) 受講者数は、50名以内とする。

なお、50名を超えた場合は、申込み締め切り日前であっても受け付けを締め切ることがあります。

(2) 郵便局の「振替払込請求書兼受領書」は、本会の領収書に代えるものとし、また、講習会の「受講票」となりますので、必ず講習会当日に持参して下さい。

9. 合格証等の交付：

認定講習会において教科課程を修了した者には修了証を、認定試験（学科及び実技）に合格した者には合格証をそれぞれ交付します。なお、認定試験に合格した者については、修了証を合格証に代えます。

10. 受講者必携品：次の物を必ず持参して下さい。試験当日、これらを忘れても本会からは貸与しません。また器具や服装等の不備によっては、受験を認めないことがあるので、注意して下さい。
- 筆記用具と画板 (B4 版大)、削蹄器具 (鎌型蹄刀、削蹄鉋、削蹄鉋、削蹄板、蹄鉋、頭部保定用ロープ)、作業用衣服、前垂れ、ゴム長靴等 (消毒可能な履物)、砥石 (荒砥、中砥、仕上げ砥)、砥石台、タオル。
 - ※ 作業用衣服、削蹄器具等は、必ず洗濯済み、消毒済みの防疫上清潔なものを持参して下さい。
 - なお、保定用ロープは、必ず新品を持参して下さい。(新品でないものの持込みは認めません)

11. 認定試験：認定試験は、次の課目について、下表の日程に従って実施します。
- ① 学科試験～A 分野「牛に関する基礎的なこと・肢蹄の解剖・疾病に関すること」、B 分野「削蹄判断に関すること」、C 分野「基本削蹄法に関すること」(筆記試験)
 - ② 実技試験～「実牛を使った削蹄」(受験者 2 人で 1 頭を削蹄～受験者 1 人につき前後肢各 1 肢を削蹄)

12. 講習日程等：

- (1) 受付は、7 月 20 日 (水)、午前 8 時 20 分から開始します。この時間までに学科講習の会場である宮崎県立農業大学の研修室に集合して下さい。(時間厳守)
- (2) 講習日程は、次のとおりです。(都合により多少変更する場合があります。)

期 日	時 間	講 習 及 び 試 験 の 内 容	担 当 講 師
第 一 日	7 月 20 日 (水) 研修室	08:30～11:30	削蹄基礎知識 日本装削蹄協会 認定研修部 大沼純一
		11:30～12:00	学科試験 (B 分野) 試験委員
		12:30～13:30	学科試験 (A 分野・C 分野) 試験委員
	肉用牛舎	13:30～17:00	基本削蹄 (実牛を使わない講習) 指導級認定牛削蹄師 (宮崎県) 宮窪悦夫
第 二 日	7 月 21 日 (木) 肉用牛舎	08:30～12:30	基本削蹄 (実牛を使った講習) 指導級認定牛削蹄師 (宮崎県) 坂上和秋・西川清郎
		13:30～15:00	
		15:00～17:00	実技試験 (実牛による削蹄) 試験委員

13. 個人情報：受講者の個人情報については、次のとおり取り扱います。
- (1) 受講申込書等に記載された内容は、研修・試験事務等に利用します。
 - (2) 合格者については、認定申請の案内に利用するため、受験者の地元の装削蹄師会に提供します。
 - (3) 2 級認定牛削蹄師の認定を受けた者の個人情報についても認定更新、昇級研修、関係装削蹄師会の案内事務等に利用するとともに、当該事務を円滑に行うために必要な個人情報を関係装削蹄師会に提供します。

14. その他留意事項：

- (1) 実技講習における防疫対策については、原則として別添の「牛削蹄関係講習会等における防疫対策要領」に基づき実施しています。
- (2) 日本装削蹄協会は、講習・受験中の受講者の事故について責任を負いません。
- (3) 宿泊及び昼食を希望する方は、地元装削蹄師会を經由し、7 月 13 日までに宮崎県立農業大学校研修センター (0983-23-7447) に申し込みください。
なお、宿泊する場合は、朝食・夕食の申し込みが出来ますが、締め切り後のキャンセル (返金不可) は出来ませんのでご注意ください。
- (4) 所定の申込み関係書類を本会に提出し、受講料等を振り込まれた方は、特に問題がない限り本会より連絡はいたしません。講習会当日、時間に遅れないようお集まりください。
- (5) 第一日目の基本削蹄 (実牛を使わない講習) では、刃物を研ぐ講習を行いますので、刃物及び砥石をご持参ください。

牛削蹄関係講習会等における防疫対策要領

平成 28 年 4 月 1 日
(公社) 日本装削蹄協会

日本装削蹄協会（以下「本協会」という。）が主催する牛削蹄関係講習会・研修会における防疫対策については、「口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針」（平成 23 年 10 月 1 日農林水産大臣公表）を踏まえ、本要領に定めるところによる。

1. 目的

本要領は、家畜伝染病の発生予防の観点から、本協会が主催する講習会・研修会において、牛を使用して実技講習・研修、実技試験（以下「実技講習等」という。）を実施する場合の防疫対策を定めるものである。

2. 防疫対策の基本

実技講習等における防疫対策は、消毒の徹底を基本とする。

3. 講習会等における防疫対策

(1) 実技講習等に参加するに当たっての防疫上の心得

- ア. 実技講習等の受講・受験者並びに講師及び補助者（以下「受講者等」という。）は、洗濯した清潔な衣服を着用して実技講習等の会場（以下「実技講習会場」という。）に来場すること
- イ. 受講者等で実技講習等の前に偶蹄類の動物に接触した者は、事前に入浴及び洗髪してから実技講習会場に来場すること
- ウ. 受講者等は、事前に十分洗浄・消毒した削蹄用具（作業着、作業靴、作業手袋、前垂れ、各種削蹄器具、削蹄器具の収納箱等をいう。以下同じ。）を持参すること。
ただし、前垂れについては、洗浄しても汚物が除去できない場合は、新品を持参すること
- エ. 実技講習等で使用する牛の保定用ロープは、消毒済みのもの又は新品を持参すること
- オ. 受講者等及び本協会の実技講習等担当者（以下「日装担当者」という。）は、実技講習等終了後（帰宅後等）、着衣の洗濯、入浴、洗髪を行うこと

(2) 実技講習会場入場時における防疫対策

- ア. 実技講習会場に入場する車両は、所定の場所において日装担当者（日装担当者が指定する補助者等を含む。以下同じ。）による噴霧消毒を受けること
- イ. 実技講習会場に入場する受講者等及び日装担当者は、所定の場所において日装担当者による作業衣の噴霧消毒を受けるとともに、踏込消毒槽で消毒すること
- ウ. 一般観覧者で作業着を着用しない者は、実技講習会場の所定の場所において、噴霧消毒および踏込消毒槽で消毒のうえ、本協会が用意する防疫服および防疫シューズカバーを着用すること
- エ. 受講者等は、実技講習会場の所定の場所において、日装担当者による削蹄用具の点検・消毒を受けること

(3) 実技講習会場退場時における防疫対策

- ア. 受講者等が実技講習会場から退出するときは、所定の場所で削蹄用具の消毒及び作業衣の噴霧消毒を受けた後、履物を踏込消毒槽で消毒してから退出すること
- イ. 防疫服及び防疫シューズカバーを着用した者が実技講習会場から退出するときは、所定の場所で日装担当者による防疫服の噴霧消毒を受けるとともに、防疫シューズカバーを踏込消毒槽で消毒のうえ、消毒済みの防疫服及び防疫シューズカバーを所定の場所に返却した後、履物を踏込消毒槽で消毒してから退出すること
- ウ. 実技講習会場に入場した車両は、その退出時、所定の場所において日装担当者による噴霧消毒を受けてから退出すること

4. 防疫対策の遵守

防疫対策について、遵守しない者は、実技講習会場への入場を認めない。

5. 関係団体の協力

本協会は、実技講習会場における防疫対策に必要な動力噴霧器等の供用について、可能な範囲で牛削蹄関係正会員、農業共済団体の協力を得るものとする。

以上

払 込 取 扱 票

口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。

00	口座記号	口座番号 (右詰めで記入)	金額	千：百	十：万	千	百	十	円
	0 0 1 9 0 6	7 6 3 5 6 2							

加入者名 **公益社団法人 日本装削蹄協会**

料 金

備 考

注：受講地を記入し、テキストを購入する場合は、該当項目に☐を入れて上の金額欄に払込金額を記入して下さい。
また、テキストを購入する場合は、別途送料がかかりますので、詳細については同封郵便をご参照下さい。

受 講 地	<input type="checkbox"/> 新規牛削蹄師養成講習会 (2級認定牛削蹄師認定講習会) 受講料・受検料 (47,520円)	<input type="checkbox"/> テキスト代(6,000円) 送料 (1冊 360円)
-------	--	--

おと(り)ろ おなまえ

日 附 印

様

(ご連絡先電話番号)

名票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
どれより半額には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号	0	0	1	9	0	6
口座番号	7	6	3	5	6	2
加入者名	(公社)日本装削蹄協会					
金額	千	百	十	万	千	百
ご依頼人	おなまえ					
日 附 印	日 附 印					
料 金	円					
備 考						

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。
切り取りしないでください。

この受領証は、大切に保管してください。



2級認定牛削蹄師認定講習会受講申込書

公益社団法人日本装削蹄協会会長

殿

フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日
郵便番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
住所	
電話	()
最終卒業 (修了)学校	学校名 卒業(修了) 年 月 日

2級認定牛削蹄師認定講習会を受講したいので
申し込みます。

年 月 日

氏名



注意 年月日は年号で記入すること。

2級認定牛削蹄師認定試験受験願書

公益社団法人日本装削蹄協会会長 殿

公益社団法人日本装削蹄協会認定規程による 2 級

認定牛削蹄師認定試験の受験を願います。

平成 年 月 日

郵便番号

				-				
--	--	--	--	---	--	--	--	--

フリガナ

住 所

電 話

()

フリガナ

氏 名

印

年 月 日 生